

令和 2 年度 事業報告



特別養護老人ホーム オレンジタウン笠寺
ショートステイ オレンジタウン笠寺
オレンジタウン笠寺 デイサービスセンター
特別養護老人ホーム オレンジタウン笠寺Ⅱ

1. 理念

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けられる町づくりをめざして

2. 基本方針

(1) 地域に根ざし、地域包括ケアシステムの一端を担う

重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後までつづけることができるよう、地域社会と連携して町づくりに参画していく。

(2) ICF モデルの視点に立ったケアの提供

利用者の生活歴や生活機能の把握に努め、「している“活動”」の向上を目指し、結果として「その方らしい生活」を提供していく。

3. 行動指針 — 私たちの行動3か条 — (令和1年度策定)

私たちはその人らしい暮らしをサポートします

私たちは常に温かく支えあうチームを目指します

私たちは地域と一緒にこの町をハッピーにします

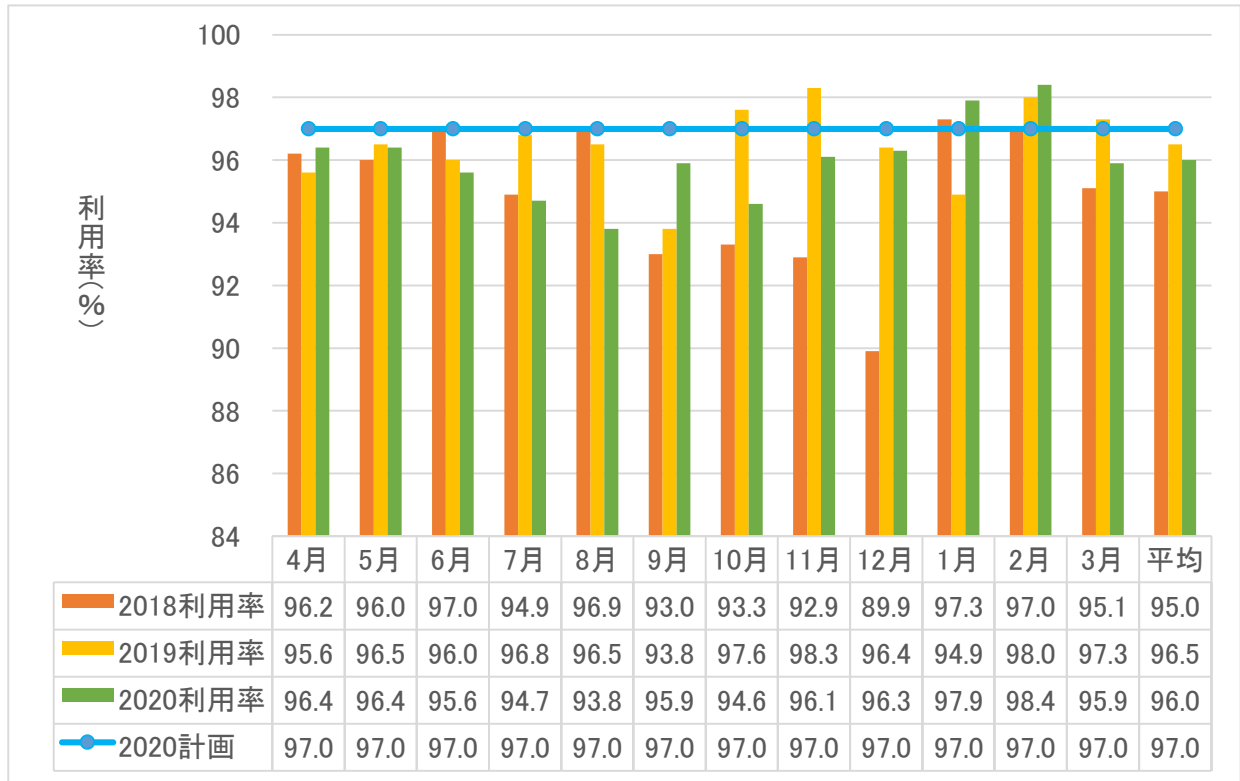
4. 令和2年度 事業経過

月	日	オレンジタウン笠寺	オレンジタウン笠寺Ⅱ
4月	1日	入職式	
		行事食「開設記念日」	
	8日		お茶会
	13日	新型コロナウイルス感染症対策として面会中止	
5月	2～9日		菖蒲湯
	5日	行事食「端午の節句」	
	7日	LINEによるオンライン面会開始	
	7日～ 6月5日	あいち福祉医療専門学校介護福祉学科特養介護実習(3名)	
	25日	第1回理事会(書面評決)	
6月	1日	面会再開	
	15日	定時評議委員会	
	20日	行事食「郷土料理の日:神奈川県」	
7月	7日	行事食「七夕」	
	16日		野菜収穫(ジャガイモ、枝豆)

月	日	オレンジタウン笠寺	オレンジタウン笠寺Ⅱ
8月	1日	面会中止	
	1日	行事食「土用の丑の日」	
	4,18,24日		スイカ割り
	毎週月曜日		かき氷
9月	4日	防災訓練（シェイクアウト訓練）	
	7,8日	あいち福祉医療専門学校介護福祉学科特養実習（4名）	
	21日	行事食「敬老の日」	
	23日～14日	あいち福祉医療専門学校介護福祉学科特養実習（4名）	
10月	1日	面会再開	
	1日	行事食「十五夜」	
11月	6日		野菜収穫（サツマイモ）
	10～16日	みずほフェスタ'20 作品展出展	
	10～27日	あいち福祉医療専門学校介護福祉学科デイサービス介護実習（4名）	
	18日	消防訓練（夜間想定）	
	19日	面会中止	
	21日	行事食「郷土料理：三重県」	
12月	6～29日		餅つき 花もち作り
	8,11日		おやつレク「焼き芋」
	18～21日	ゆず湯	
	20～24日		クリスマス会
	21日	行事食「冬至」	
	25日	行事食「クリスマス」	
	31日	行事食「大晦日」	
1月	1～3日	行事食「お正月」	
	3,14日		書初め
	7日	行事食「七草粥」	
	11日	新年初笑い会	
2月	2日	行事食「節分」	
	2,5日		豆まき
	3日	新年安全祈願祭（七所神社）	
3月	1日	面会再開	
	2,3日		ひな祭り会
	3日	行事食「ひなまつり」	
	11日	シェイクアウト訓練	
	15日	第2回理事会（Web開催）	
	24日	評議委員会	

5. 運営状況

①特別養護老人ホームオレンジタウン笠寺 介護老人福祉施設(ユニット型 定員 80 名)

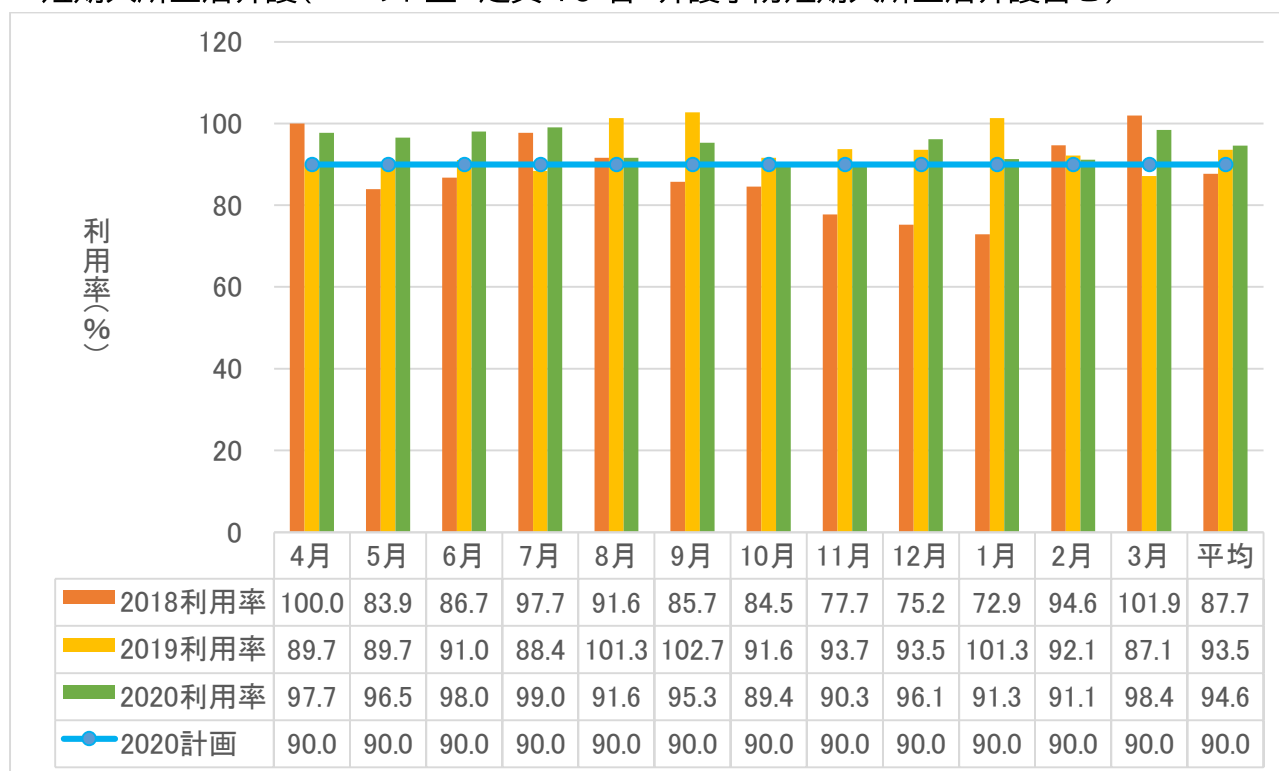


- ・今年度の利用率は計画値 97.0%に対し、96.0%と下回った。
ACP の取り組みも行っているが、病院での精査、治療を希望される等で、一定の入院者がある。
- ・今年度末現在、入居者の平均年齢は 85.7 歳、平均入居期間は 948 日、平均介護度は 3.9。
- ・資金収支実績 (単位：千円)

事業活動収入計	423,427	事業活動外収入	2,515
事業活動支出計	363,941	事業活動外支出	48,268
事業活動資金収支差額	59,486	事業活動外資金収支差額	△45,753
(対収入比)	14.0%	当期資金収支差額合計	13,734

②ショートステイオレンジタウン笠寺

短期入所生活介護(ユニット型 定員 10 名 介護予防短期入所生活介護含む)



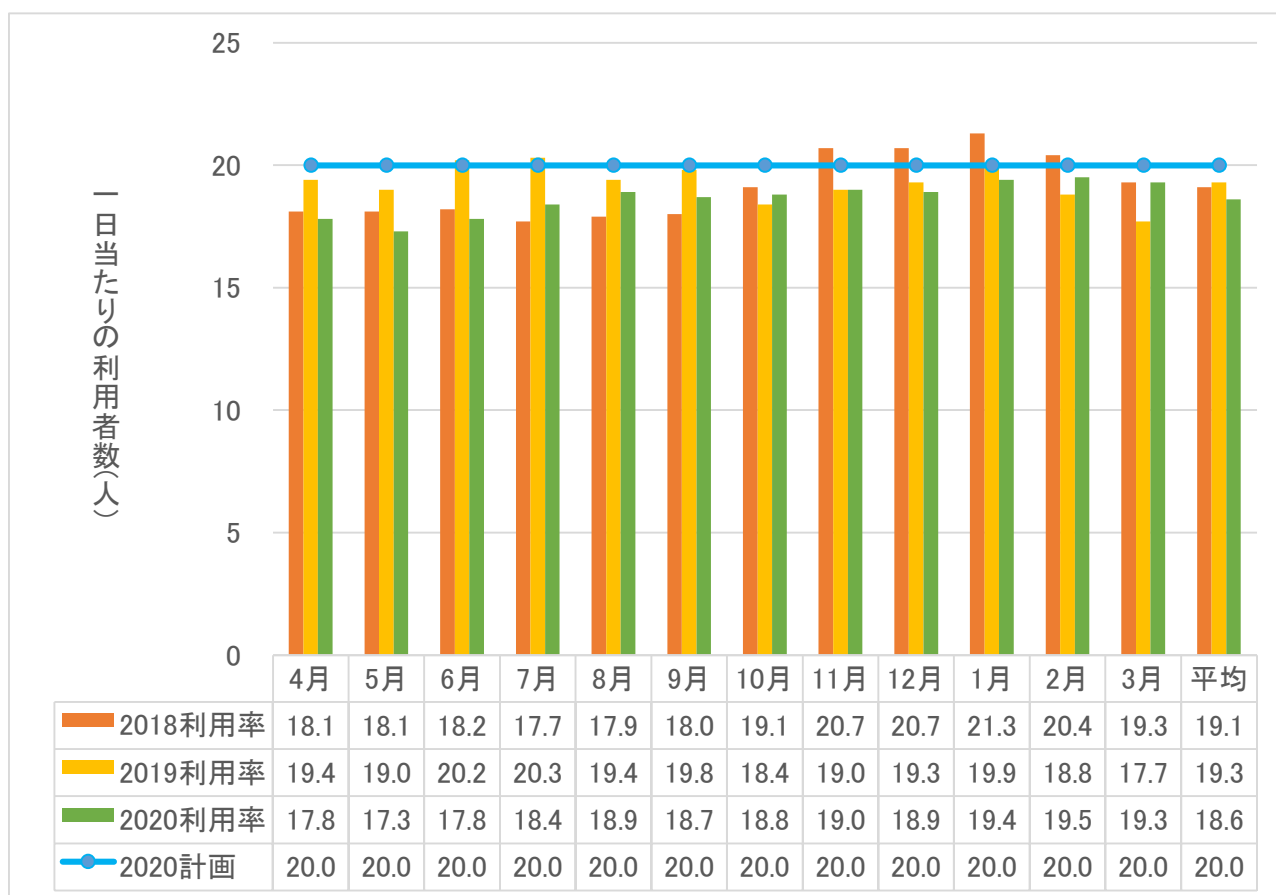
- ・当年度は利用率にバラつきがあるものの、年間平均で 94.6%となり、計画は達成できた。
- ・当年度の実利用者数は 121 名。うち、新規利用者数は 32 名、利用中止は 24 名であった。
- ・入院者のベッドをショートステイの空床利用に活用し、併せて緊急対応を積極的に行い、短期入所受入加算を算定するとともに、社会資源の有効活用に注力した。
- ・定員が 10 名と小規模で、経営効率は低い。一方で小規模なことを強みとし、認知症や医療ケアが常時必要な方等、地域で難渋するケースを受け入れることで、地域のケアマネジャーからの信頼を得ている。結果、当年度の平均介護度は 3.0 で、短期入所生活介護としては高い。

・資金収支実績 (単位：千円)

事業活動収入計	53,111	事業活動外収入	0
事業活動支出計	50,924	事業活動外支出	7,580
事業活動資金収支差額	2,186	事業活動外資金収支差額	△7,580
(対収入比)	4.1%	当期資金収支差額合計	△5,394

③オレンジタウン笠寺デイサービスセンター

通所介護(定員 30 名 予防専門型通所サービスを含む)



- 1日あたりの平均利用者数を20.0人と計画したが、年間平均で18.6名であった。登録者数は年間平均で通所介護46.3名、予防専門型17.5名。新規開始は26名、利用中止は26名であった。

入院、施設入所、死亡を理由に中止となるケースが多い。

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、利用を控えも多く、特に第一四半期は新規申込みが少なかった。

昨年度末に南区・緑区に出されたデイサービス休業要請の影響も大きかったと推察する。

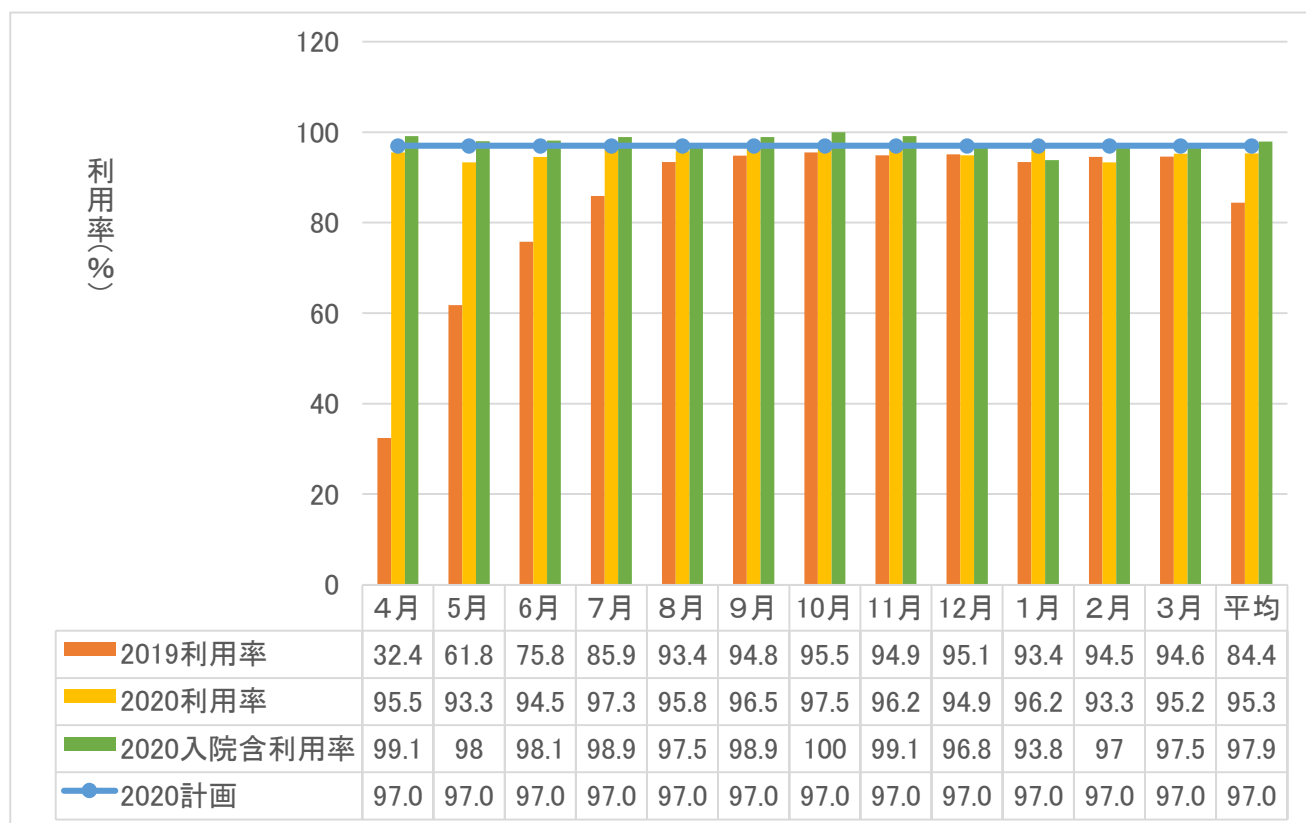
そのため、中止者が新規利用者を上回り、利用数も少なかった。

その後、徐々に問い合わせが増え、生活相談員を増員したことで、月平均19人台まで回復した。

- 資金収支実績 (単位：千円)

事業活動収入計	56,005	事業活動外収入	693
事業活動支出計	53,705	事業活動外支出	7,656
事業活動資金収支差額	2,300	事業活動外資金収支差額	△6,962
(対収入比)	4.1%	当期資金収支差額合計	△4,662

④特別養護老人ホームオレンジタウン笠寺Ⅱ(平成 31 年 4 月 1 日開設)
介護老人福祉施設(ユニット型 定員 80 名)



- ・開設 2 年目の平均入居率は 97.9%、実利用率は 95.3%で、計画の 97.0%を下回った。実利用率が下がった要因は、入居者の身体状況悪化による入院である。

特に、12月から3月にかけての入院が多かった。

- ・入居者の平均年齢(年度末)は 87.3 歳、平均介護度は、年間平均 3.70、年度末 3.79 であった。
- ・実利用率は計画を下回ったが、4月から日常生活継続支援加算(Ⅱ)を算定したことにより、収入単価は計画を 2.05%上回ることができた。
- ・資金収支実績(単位:千円)

事業活動収入計	411,951	事業活動外収入	4,017
事業活動支出計	357,663	事業活動外支出	34,957
事業活動資金収支差額	54,288	事業活動外資金収支差額	△30,940
(対収入比)	13.2%	当期資金収支差額合計	23,347

⑤ケアプランセンターオレンジ(居宅介護支援事業所)

- ・当年度は、開設に必要な人材の確保が出来ず、開設に至らなかった。

6. 人材の確保ならびに定着にかかる研修等の状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、新卒採用のための学内説明会やイベントが中止となり、また学校訪問も敬遠されるため、例年のような活動ができなかった。
結果、慢性的な介護人材不足のため、人員の充足に至らない状況が継続している。
- ・同様に、予定していた EPA 介護福祉士候補者、技能実習生も入国できず、採用に至っていない。
- ・平成 29 年より就労している EPA 介護福祉士候補者全員（2 名）が介護福祉士国家試験に合格することができた。
- ・優れた人材を育成するため、施設内研修の実施はもとより、施設外研修にも積極的に参加させ、正しい知識、技術の習得とともに、モチベーション向上にも取り組んでいる。
- ・コロナ禍で密になることを防ぐために、今年度は集合研修を中止し zoom を活用したオンデマンド研修や課題学習に切り替えた。昨年度までもビデオ学習を取り入れていたことから、オンデマンド研修への移行は容易で、今後も活用できるコンテンツが複数制作できた。
- ・研修受講後は参加報告書を提出させ、学びの振り返りの機会としている。

① 令和 1 年度施設内研修

【オレンジタウン笠寺】

研修日		研修名・内容	人数
4 月 2, 3, 6 日	8 時間	善常会グループ新入職者研修	2 名
6 月 1 日～30 日	動画	令和 2 年度事業計画説明会（岡田理事長・真田施設長）	41 名
6 月 13 日～19 日	動画	「ユニットケアと 24 時間シートについて」(早瀬、蒲原)	14 名
6 月 17 日～30 日	動画	虐待・身体拘束廃止委員会① 「介護事業者における権利擁護と法令順守」 (愛知県弁護士会 松隈 千栄子氏)	全職員
7 月 7 日～15 日	動画	事故防止検討委員会① 「事故防止対策委員会の活動について」(松崎)	全職員
7 月 20～26 日	動画	感染対策委員会① 「食中毒について」(蒲原、澤成、早川)	全職員
8 月 3 日～16 日	動画	褥瘡対策委員会 「圧迫、ずれ、蒸れを軽減する福祉用具の活用法」(パラマウントベッド清水氏)	全職員
8 月 25 日	1 時間	中途採用職員研修 「車いすについて」(火谷)	1 名
8 月 27 日	1 時間	中途採用職員研修 「栄養科について」(林)	1 名
8 月 27 日	1 時間	中途採用職員研修 「移乗について」(火谷)	1 名
12 月 21 日～27 日	動画	事故防止検討委員会②「介護事故を防ごう！介護現場でよくあるヒヤリハット」(早川、松崎、林)	全職員
11 月 13 日～19 日	動画	感染対策委員会②「新型コロナウイルスについて」(馬場、池戸)	全職員
12 月 23 日～ 1 月 13 日	動画	ノーリフティングケアチーム 「ノーリフティングポリシーについて」(浦野)	全職員
1 月 12 日～ 2 月 7 日	動画	排泄ケアチーム 「おむつの当て方、商品の特徴」(ユニ・チャーム岩田氏)	全職員

【オレンジタウン笠寺Ⅱ】

研修日	時間	研修名・内容	対象
5月11日	1時間	感染対策委員会①「介護事業所における新型コロナウイルス感染症対策」(名古屋市保健所)	全職員
6月16・17日	1時間	「ユニットケア、24時間シートについて」(フロアリーダー)	16名
6月17～30日	動画	「介護事業者における権利擁護と法令遵守(高齢者虐待防止・個人情報保護について)」(愛知県弁護士会 松隈知栄子弁護士)	全職員
6月	1時間	事故防止検討委員会①(KYT) ※報告書提出	全職員
8月	1時間	感染対策委員会②「2020年の夏を乗り切るために食中毒を防ぐ行動と新型コロナウイルス感染を防ぐ行動」(NGFホールディング 食品衛生部 橋爪氏作成資料) ※報告書提出	全職員
9月23日	1時間	褥瘡対策委員会「褥瘡の基本的な知識・対策を学ぶ」	全職員
10月1日	1時間	感染対策委員会③「高齢者介護施設における新型コロナウイルス感染対策のポイント、イラストでわかる新型コロナ時代の病院清掃」(日本赤十字豊田看護大学 下間正隆教授)	全職員
12月4・10・14日	1時間	「R4システムを使用した入居者の評価」(機能訓練指導員)	16名
1月26日	1.5時間	「新型コロナ感染症の現状と福祉施設での講じるべき対策」(名古屋市中保健センター 田邊裕主査(医師)) ※ 各部署代表が参加し、職員に伝達	全職員
2月	動画	「圧迫・ずれ・蒸れを軽減する福祉用具活用方法」(パラマウントベッド(株) 清水隆生氏)	全職員

② 令和2年度施設外研修

【オレンジタウン笠寺】

研修日	時間	研修名・主催	人数
9月24日	6時間	オンライン研修「専門職としての接遇研修」 (名古屋市社会福祉協議会)	1名
10月8日	6時間	新任職員基礎研修 (名古屋市社会福祉協議会)	1名
10月19日	6時間	オンライン研修「介護記録研修」 (名古屋市社会福祉協議会)	1名
10月27日	6.5時間	「介護現場の人材育成に活かすスーパービジョン～スタッフを育てるために」(名古屋市社会福祉協議会)	1名
10月29日	6時間	オンライン研修「口腔ケア研修」 (名古屋市社会福祉協議会)	1名
12月 2, 8, 15日	3日間	オンライン研修「スーパービジョン実践研修」 (名古屋市社会福祉協議会)	1名
12月4日	4時間	「現場で活かせる新人職員の能力向上研修」 (名古屋市社旗福祉協議会)	1名

研修日	時間	研修名・主催	人数
12月7日	6時間	オンライン研修「人材定着研修」	1名
12月17日	6時間	介護技術研修（体位変換・移乗） （名古屋市社会福祉協議会）	1名
12月18日	6時間	オンライン研修「ターミナル研修」 （名古屋市社会福祉協議会）	1名
12月19日	1時間	Webセミナー「ノーリフティングケアの取り組み 利用者・介護職員双方に優しいケア」 （社会福祉法人 土佐香美福祉会）	2名
1月18日～ 20日	3日間	オンライン「ユニットリーダー研修」 （ユニットケア推進センター）	1名
1月29日	8時間	介護技能実習生生活指導員研修（株式会社ウエルネット）	1名
2月9日,10日	2日間	初級リスクマネージャー養成講座 2020 （全国社会福祉法人経営者協議会）	3名
2月12日	6.5時間	オンライン研修「スーパービジョン実践研修」 （名古屋市社会福祉協議会）	1名
2月12日～19 日	35分	Webセミナー 「映像で見る摂食嚥下障害の基礎と食べる訓練」 （パラマウントベッド）	2名

【オレンジタウン笠寺Ⅱ】

研修日	時間	研修名・主催	人数
2月9・10日	2日間	初級リスクマネージャー養成講座 2020 （全国社会福祉法人経営者協議会）	1名
2月9・10日	2日間	ユニットケアリーダー研修（講義・演習） （日本ユニットケア推進センター）	1名
2月18・19日	2日間	ユニットケア施設管理者研修（日本ユニットケア推進センター）	1名

7. 地域社会との連携、共生に向けた取り組み

- ・町内会の廃品回収に毎月参加した。
- ・11月10～15日みずほフェスタ'20作品展（瑞穂区役所）に出展。（ハイブリット開催）
- ・同フェスタ実行委員1名、スタッフ1名を派遣。
- ・南区地域包括ケア推進会議認知症専門部会に委員1名を派遣。
- ・CBCラジオ健康ライブラリー出演
9月13日「コロナ禍での施設運営」、3月7日「高齢者施設でのコロナワクチン接種」

オレンジタウン笠寺開設から5年、地域とともにある善常会を目指し、カフェやサロンなど少しずつ拡充してきたにも関わらず、コロナ禍で今年度はすべてのイベントが開催できなかった。そんな状況下でも、地域への発信力を失わないように配慮した。

8. まとめ

オレンジタウン笠寺は開設より 5 年目、オレンジタウン笠寺Ⅱは 2 年目を終え、いずれも概ね順調に施設運営ができた。

一方で、昨年度来、新型コロナウイルス感染症による影響は大きく、度重なる面会の中止、在宅サービスを中心とした利用控え、また感染予防策に人的資源、物品購入等、予定外の経費もかさんだ。しかし、法人全体で、入居者、利用者、職員に一人の陽性者を出すことなく運営できた。

結果として、当法人の事業活動資金収支差額は 115,776 千円、当期資金収支差額合計は 54,541 千円で決算した。

事業開始から 5 年が経過し、社会福祉法人善常会の組織文化が醸成されつつある。

次年度以降も、社会福祉法人の目的を鑑み、善常会として地域から信頼され、地域に貢献できるよう、事業計画に基づき、着実に歩みを重ねていく所存である。